



特集

薬学部 新設

【Contents】

学長室から / 第23回 竜王祭を開催	2
特集 薬学部 新設	4
キャンパスニュース	6
新任教員紹介 / 寄附の募集を開始 / etc.	8

工学と薬学、実学の両輪で実現する『心の豊かさ』で明るい未来を！



学長 森田 廣

新しい年を迎え、本学は皆様の多大なご支援の賜物にて、公立大学としての3年目を迎えることとなりました。1年目、2年目と大過なく本学を運営することができましたこと、大学を代表してお礼申し上げます。これからもより一層、教育・研究に磨きをかけ、社会に貢献すべく邁進してまいりますので宜しく願い申し上げます。

さて、本年4月には、本学にこれまでの工学部に加えて新たに山口県としては初めての薬学部を創設いたします。長く、この地に望まれていた、薬学の知識を有する人材を育て地域の健康を担う学び舎がこの地にできます。莫大な資金を頂いて、大きな校舎を3棟と薬用植物園を準備し、海外も含め全国から54人の先生方をこの地にお呼びするには、関係する皆様方の長年にわたる並々ならぬご努力があったからこそであり、市民や地元の方々の暖かいご支援があったからこそであります。お一人おひとりのご恩に対しまして改めましてお礼を申し上げます。

本学はこれより、工学部と薬学部よりなる大学、いわゆる薬工系大学となります。学生数も現在の950人余りから6年後には $120人 \times 6 = 720人$ 増えて、1700~1800人規模の、

ざっと、現在の2倍の人員となります。

工学と薬学、このふたつの「実学」の学部に、私はひとつの使命を持たせたいと思います。それは「人々の生活を豊かにする」ことです。人が生きていくうえで大事なことは、3つの豊かさを得ることだと思います。「心」と「体」と「富」の豊かさです。工学部は、産業を興し、富をもたらし、人を裕福にしなければなりません。薬学部は、人の健康寿命を延ばし、安らかな生活をもたらさねばなりません。そして、富と健康が備わってこそ、人は心の豊かさを得ることができると思うのです。富と健康こそ心の豊かさを支える両輪なのです。「生産活動」と「生命活動」のふたつの営みを守り、発展させていくことを、本学は目標となし、果敢に挑戦していきます。私の夢は、いつの日か本学が、社会の皆様から「日本で一番大切にしたい大学」といわれる日が到来することです。本年も宜しく願い申し上げます。

平成30年1月（「冬来りなば春遠からじ」と、冷たい手をこすりながら）



第23回 竜王祭

～ Catch the Moment ～

11月18日(土)・19日(日)、山陽小野田市立山口東京理科大学の学園祭である竜王祭が開催されました。

竜王祭実行委員の学生たちが企画から運営まで共同して創り上げる一大イベント。学生や地域の方々笑顔あふれる、実りある学園祭となりました。



軽音部によるライブも大変盛り上がりました！

模擬店はそれぞれ個性が光っていました。



山陽小野田市出身の兄弟デュオ「SORGENTI (ソルジェンティ)」、山口県を中心に活躍中の山口的美少女「オレンジ☆みるふい〜ゆ」のライブを行いました。

オレンジ☆みるふい〜ゆ

SORGENTI



薬学部 薬学科

- 開 設 2018年4月
- 収容定員 720名
- 入学定員 120名
- 授与学位 学士(薬学)
- 修業年限 6年
- 所在地 山口県山陽小野田市大学通一丁目1番1号



- ① 6号館 (研究室・教室・実験室・学生食堂)
- ② 7号館 (研究室・教室・実験室・図書館)
- ③ 8号館 (実験室)
- ④ 薬用植物園

地域と人を支える薬学を、 産学官の連携がサポートします

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、清々しい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、山口東京理科大学が公立大学として新たなスタートをきり、2年が経過しようとしています。これまで理工系の単科大学として親しまれてきた大学は、4月から県内初の薬学部も備える薬工系大学となります。工学・薬学のそれぞれが持つ魅力、可能性は無限で、地元市長として志ある学生をお迎えできる環境を大変嬉しく思います。また、数多くの優秀な学生が県内で活躍される未来にも期待しています。

本市が、将来都市像として掲げる「活力と笑顔あふれるまち」の実現に向け、知の拠点である大学を地域の大きな資源ととらえ、地域に開かれた大学として、市民や企業の皆様にもっと身近に感じていただけるよう、産学公民の連携をさらに深める取り組みを進めてまいります。

4月からは「公立薬工系大学」として、さらに充実した教育・研究環境となるよう山口東京理科大学を行政の視点からサポートしてまいります。皆様の今後のご活躍を心より期待しています。

山陽小野田市長 藤田 剛二



薬学部 新設



薬学部の3つの特色

薬学部薬学科では、入学者全員が薬剤師免許を取得することを前提に、医療・臨床薬学、創薬科学、社会健康薬学の領域で活躍できる、質の高い薬学教育を行うことを特色とします。

医療をサポート

薬の専門家として、医療・臨床の場で、問題・課題を科学的に研究・実践し、医療の向上に努める。

特色1

医療・
臨床薬学

くすりを使う

特色2

創薬科学

くすりを創る

医薬品開発をサポート

主に有機化学系、物理化学系、生命科学系の研究室が治療薬開発のために基礎及び応用研究を展開する。

特色3

社会
健康薬学

やまいを予防する

人の健康をサポート

薬学的な知識・学問を総動員し、病を未然に防ぎ、生活習慣病などの病気になるようにする。

現代社会に効く薬学を武器に 社会で活躍する人材を育みます

山口県内初の薬学部6年制薬学科が、平成30年4月から本学に開設されることになりました。

これもひとえに、本学の教職員・学生・保証人の皆様、山陽小野田市長をはじめとする多くの方々のご多大なご尽力とご支援による賜物であり、関係いただきました皆様方に厚くお礼申し上げます。

例年、山口県内の大学進学者のうち約200人が他県の薬学部に入学者、そのうち薬剤師として県内に戻ってくる学生は約30人とどまり、薬学部が県内に設置されることは人材流出の歯止めにつながることもあって、山口県や山陽小野田市、地元薬剤師会、教育・医療・産業各界からも要望が強く大きな期待もありました。一方で、薬学部を卒業する学生の進路は多岐にわたっていて、薬局・病院・診療所、医療関連企業、国家・地方公務員、大学教員など、どこにおいても専門知識を有した薬剤師が求められています。

このような背景を受けて、本学薬学部では「志が高く人間性に優れ高度な専門知識を有した薬剤師」を育成することによって、予防医学を通じた地域住民の健康促進、医薬品の創製による地元産業の活性化、臨床現場におけるチーム医療や在宅医療、官公庁、教育界など各分野のキーパーソンとして貢献することのできる人材を輩出してまいります。

このためには、本学の薬学部と工学部だけでなく、山口大学、山口県立大学、下関市立大学、山口県・山陽小野田市薬剤師会などと連携させていただき、教育・研究・社会連携活動を教職員が総力をあげて進めてまいりますので、ご指導・ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

理事長 池北 雅彦



キャンパスニュース



第1回 健康セミナー「性の健康」を開催

7月20日(木)、「性の健康」と題して、平成29年度第1回健康セミナーを開催しました。

臨床心理士の細川さんから「LGBTsの基礎知識」について、本学保健管理センター保健師の日高技師から「妊娠と避妊・性感染症」について講演を行いました。

LGBTとはセクシュアルマイノリティの総称の1つで、日本では約13人に1人が該当するといわれています。

参加した学生約120名からは、初めて知ることが多かったという声や知識が深まったという声が多く上がりました。



第8回 山陽小野田市「かがく博覧会」を開催

9月23日(土)・24日(日)の2日間、おのだサンパークにて、第8回 山陽小野田市「かがく博覧会」が開催され、小・中学生を中心に合計3,780名の方にご来場いただき、会場は大いに盛り上がりました。

この博覧会は山陽小野田市と本学が共同で開催しているもので、科学を学ぶ楽しさや驚き、感動を体験できるイベント



です。本学からも合計9つのブースを出展し、それぞれのブースで個性あふれる実験等が行われました。

交通安全講習会・薬物防止講習会を開催

9月28日(木)に山口県山陽小野田警察署の貞末さんを講師に迎え、交通安全講習会・薬物防止講習会を開催し、約50名の学生・教職員が参加しました。

交通安全講習会では、自転車の通行に関する規則や「ながら運転」の危険性、夜間における反射材の使用等について説明いただきました。また、飲酒が人間の行動にもたらす影響について、飲酒状態を疑似体験できるゴーグルを用いて学ぶことができました。

引き続き実施した薬物防止講習会では、違法薬物の恐ろしさをDVDを見ながら学びました。



ビプリオバトル「グランドチャンプ本大会」に参戦

10月21日(土)、山陽小野田市立図書館にてビプリオバトル「グランドチャンプ本大会」が開催されました。

「ビプリオバトル」とは、参戦者が「おもしろい」と思った本についてプレゼンテーションを行い、観戦者(観客)が「どの本が一番読みたくなったか」を基準に投票し、チャンプ本を決める大会です。

本大会でチャンプ本に選ばれたのは、9月30日(土)に本学にて



開催した「第1回ビプリオバトル」で優勝し出場権を得た本学応用化学科3年の江口潤さんが紹介した「君と夏が、鉄塔の上」でした。

献血・献眼啓発活動にボランティアとして参加

9月10日(日)、大学近くのショッピングモールおのだサンパークにて献血・献眼キャンペーン「あなたの協力で助かる命があります!ー広げよう献血・献眼の輪ー」が行われ、本学の学生4人がボランティアとして参加しました。

10代、20代の献血者が減少している中、学生たちは地元大学を代表し、快くボランティアを引き受け、買い物に訪れた人たちに声をかけ、献血に対する意識向上を熱心に訴えました。

本学はこれからも地域に貢献する大学として、積極的にボランティア活動に参加してまいります。



マナー向上キャンペーンを実施

9月25日(月)～9月27日(水)の3日間にわたって、マナー向上キャンペーンを実施しました。

これは昼休みの時間にキャンパス内を巡回し、喫煙マナー向上の呼びかけやキャンパス内を清掃する活動で、約100名の学生・教職員が参加しました。

学友会メンバーは初めて作成した学友会Tシャツを着て活動に取り組みました。



今回の活動を通して、参加者たちは喫煙マナーに対する意識や環境美化への意識を高めることができました。

第5回 全国公立大学 学生大会(LINE topops 2017 in Osaka)に参加

10月7日(土)～10月9日(月)の3日間、大阪府立少年自然の家と大阪市立大学で「第5回 全国公立大学 学生大会(LINE topops in Osaka)」が開かれました。

「地方の知を、結集させよ」をテーマに全国36大学から144人の学生が集まり、2泊3日の合宿を行いました。

本学からも電気工学科 井上教授のもと、GIS活動を行っている2年生のメンバー6人が参加し、地域連携やボランティア活動を通して学んだことを情報交換し、プレゼンテーションを行うなど学生間の交流を深めました。



平成29年度 第2回 FD講演会を開催

10月26日(木)、本学において今年度2回目となるFD*講演会を開催し、約60名の教職員が参加しました。

今回のFD講演会では、「山口県発達障害者支援センターまっぷ」センター長の岡村隆弘さんを講師に迎え、「発達障害者支援の現状と課題(青年期～成人期を中心に)」というテーマで講演いただきました。



講演では発達障害の特性や心理面でのアセスメント、コミュニケーション支援、指導するときの配慮点等について説明がありました。

* FD(Faculty Development)とは、教員が授業内容方法を改善し向上させるための組織的な取組の総称です。

平成29年度保証人懇談会を開催

10月21日(土)・22日(日)に、平成29年度保証人懇談会を開催しました。天候の悪い中、両日併せて241人と、多くの方々にご出席いただきました。

懇談会では、まず森田学長から、大学の使命について学生への思いをアサギマダラという蝶に例えた話がありました。その後、貴島学生部長から学生生活の状況や学生支援制度について、池田教務幹事長から年間授業計画や成績の見方について、吉岡就職幹事長から進路状況や就職支援体制について、それぞれ話がありました。

全体説明会の後は、教育後援会から定期総会で承認された事項の報告、竜王祭実行委員会から助成(教育後援会)に対するお礼と活動報告がありました。

希望者には個別相談が行われ、会場となったパレテールでは、保証人の方々とチューター教員が熱心にお話しされ、充実した懇談会となりました。



6年連続!全日本学生フォーミュラ大会に参戦

学生が自ら構想・設計・製作したレーシングカーでものづくりの総合力を競う、「第15回全日本学生フォーミュラ大会」が9月5日(火)～9月9日(土)に静岡県小笠山総合運動公園で行われました。

98チームがエントリーする中、本学の学生フォーミュラチーム(TUSY Formula)もガソリン車部門に「アサギマダラ6号」で6年連続出場しました。

技術検査や騒音などの「車検」、コストやデザインの審査、プレゼンテーションを行う「静的審査」、実際にコースを走り、走行性能や耐久性、燃料消費量などから評価する「動的審査」などをクリアし、2年連続完走・完走し、総合34位となりました。

本学の教職員・学生は大会動画配信サイトに応援しました。



山陽小野田市内企業見学バスツアーを実施

11月20(月)、1・2年生を対象に山陽小野田市内の企業を巡るバスツアーを実施し、学生18人が参加しました。

このツアーは今年度が初の試みで、地元の産業・企業を知ってもらう機会として企画したものです。西部石油株式会社、THK株式会社、長州産業株式会社の3社を見学しました。

西部石油株式会社では会社の概要について説明を受けたのち、製油四課のパネル室や構内を見学しました。

THK株式会社では会社概要について説明を受けたのち、LMガイドの生産設備や製造工程を見学しました。

長州産業株式会社では会社の概要について説明を受けたのち、太陽光パネルの製造工程、太陽光発電所、水素ステーションを見学しました。



日本原子力学会中国・四国支部「優秀研究プレゼンテーション賞」を受賞

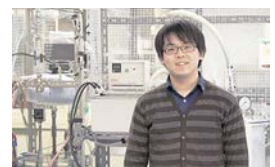
大学院工学研究科工学専攻修士課程2年 佐藤義晃さんが、日本原子力学会中国・四国支部の第11回研究発表会において「優秀研究プレゼンテーション賞」を受賞しました。



- 受賞者 工学研究科工学専攻 修士課程2年 佐藤義晃
- 指導教員 結城和久 教授
- 発表題目 爆発圧縮成型ポラス銅管を用いた核融合炉ダイバータ冷却技術の検討
- 受賞日 平成29年9月20日

平成30年度日本学術振興会特別研究員(DC2)への採用が内定

大学院工学研究科工学専攻博士後期課程1年 高井貴生さんが、平成30年度日本学術振興会特別研究員(DC2)に採用されることが内定しました。



- 受賞者 工学研究科工学専攻 博士後期課程1年 高井貴生
- 指導教員 結城和久 教授
- 研究テーマ 一方向性ポラス銅を用いた省エネ冷却デバイスの開発と応用
- 採用期間 平成30年4月1日～平成32年3月31日

新任教員紹介

平成29年10月1日付けで、2名の教員が山陽小野田市立山口東京理科大学に着任されました。



工学部 機械工学科 教授
吉田 和司 Yoshida Kazushi

企業出身者の観点から、学生の皆さんが社会へ出て役立つ知識やスキルが身につくような授業を行うとともに、様々な分野の方々から協力をいただきながら、新しい機械技術の開発に取り組むたいと思います。



薬学部設置準備室 教授
黒川 陽介 Kurokawa Yosuke

広島で生まれ、福岡で育ちました。両県の間は山口に参りましたのもご縁だと思います。薬学部開設に向けて、室長の武田教授と頑張ってまいります。教職員・保証人の皆様どうぞ宜しくお願い申し上げます。

寄附の募集を開始しました。

平成29(2017)年に創立30周年を迎えた本学は、創立以来、「理学の普及をもって国運発展の基礎とする」という建学の精神をもとに地域のキーパーソンとなる人材を育成してまいりました。現在では、工学部、大学院工学研究科をはじめ、液晶研究所、先進材料研究所、地域連携センターなどを擁し、優れた研究業績をあげるとともに多くの有意な人材を送り出し、社会に貢献してまいりました。

平成30(2018)年4月には、西日本の公立大学では初めてとなる薬学部を開設し、超高齢化時代に必要となる薬剤師の養成と地域社会に対する教育・研究面での成果の還元を積極的に進めることとしており、こ

れらを実践していくためには、少しでも多くの自主的な活動財源を確保していくことが不可欠となっております。

このため、創立30周年を契機として広く寄附金を募ることといたしました。寄附金は「山口東京理科大学奨学基金」として積み立て、学生の教育環境の充実、教育・研究活動における地域貢献の強化などに活用したいと考えております。

大変厳しい経済情勢ではありますが、本学の人材育成のさらなる充実を図るため、本趣旨をご理解いただき、誠に恐縮ではありますが、何卒格別のご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

● 実施する事業

1 修学支援事業

- ・家計急変などによる経済的に困窮した学生に対する支援事業
- ・海外からの留学生に対する奨学制度などの留学生支援事業
- ・本学学生の海外留学への支援事業
- ・海外研究者の招聘等

2 地域連携事業

- ・自治体、地域の企業、団体等と連携した教育・研究支援事業
- ・本学及び自治体の主催する地域行事に対する支援事業

3 その他 基金の目的達成に必要な事業

● 金額

本学へのご寄附に対して税制上の優遇措置を受けることができます。

1 個人の方

- ・1口3千円
- ・何口でもお申込みいただけます

2 法人の方

- ・1口3千円
- ・何口でもお申込みいただけます

● 個人情報の取り扱い

本基金のためにご提供いただいた個人情報は、寄附金収受業務、寄附募集に関する業務及び本学の事業をご案内する場合のみご使用させていただきます。なお、個人情報の管理につきましては、「公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学個人情報保護規程」に基づき取り扱います。

本学へのご寄附お申込みは、「インターネットからのお手続き」、「寄附金申込書によるお手続き」から選べいただけます。詳しくは本学ホームページをご覧ください。



大学HPにてテレビCMを公開中

12月から1月の間、山口・岡山・広島・愛媛・福岡・大分の6県で放送のテレビCM(2017年)を大学ホームページにて公開しています。放送される地域以外にお住まいの方やCMを見逃してしまった方は是非ともご覧ください。



公立大学法人 山陽小野田市立
山口東京理科大学

〒756-0884 山口県山陽小野田市大学通1-1-1
TEL 0836-88-3500 FAX 0836-88-3400
✉ kyoumu@admin.tusy.ac.jp
http://www.tusy.ac.jp/

